

第75号



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://web.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp



平成三十年度 事業計画・予算

就任のご挨拶

社会福祉法人 双葉会
理事長 小峰 望明

常日頃より社会福祉法人双葉会に対し、皆様のご理解ご協力を賜りありがとうございます。

このたび小澤 大理事長より任期半ばですが3月31日を以て退任しい旨申し出がありました。

緊急理事会が招集され理事会にて協議した結果、私 小峰 望明が互選され、理事長職に4月1日就任することとなりました。

現在双葉会においては社会福祉法等の一部を改正する法律施行による定款等諸規程の改正、制定を行っております。

一方、琴清苑におきましては、耐震工事を行い急場をしのいでおるところですが、改築計画も進んでおり、重要な局面を迎え、役員、行政間にて慎重に協議されているところでもあります。

就任後は微力ながら社会福祉法人双葉会のために努めてまいりますので、今後につきましても関係各位のお力をお借りしたくお願いを申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

琴清苑事業計画

I 経営方針

平成30年度は介護報酬が0.54%増収される改定となりました。厳しい運営の続く中での明るい内容であります。しかしながら切迫している財政の問題を根本的に解決するには至りません。現在の入所定員で安定した運営を行なっていくには限界を感じざるを得ません。法人の中長期計画で進めている琴清苑全面増改築の計画の中に、数々の解決すべき問題を取り込み、今年度中に東京都との事前協議が円滑に進んでいく様に最大限の努力を行なってまいります。また、前年度から引き続いております人材確保は、増改築による定員の増加に伴う職員数の採用を踏まえ、緊急に対処して行かなければならない課題となっております。従来の方法による求人では限界が来ており、発想の転換が必要と考えます。専門学校への積極的なアプローチ、EPAの導入など数々の方法で改善を図っていく所存です。

厳しい運営と人材難が続く中でも職員の資質向上も社会的に避けられない状況です。ストレスチェックやキャリアアップの為に面談、施設内研修の充実など、各種方法により職員の資質が向上していきける様に組織的に対応してまいります。そして、西多摩全体の課題である入所希望者減少の対策の一つとなる西多摩特養ガイドを活用してまいります。

1. 重点目標

(1) 安定した計画的経営

- ・引き続き物品購入は最低限度にとどめ、経費の削減に努めます。
- ・収入増に向け算定可能な加算の取得に努めます。
- ・稼働率を上げる等の対策を行って、収支を安定させた業務の展開を図って行きます。
- ・全面改築の計画に基づいた業務や体制整備を引き続き行っていきます。

(2) 社会福祉法人としての責務

- ・各種福祉サービスを地域への福祉機能還元事業として積極的に行い、社会福祉法人としての責務を引き続き果たして行きます。

(3) 法人の理念である「心の福祉」の実践とチームワークの強化

- ・人間的なふれあいの中での処遇が実践できるようなケアプランを引き続き作成します。
- ・チームワークを強化しながら専門職としてのプロ意識の徹底を図り、質の高いサービスを提供します。

2. 地域福祉サービス計画

- (1) 社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担額軽減制度事業
軽減実施事業所として、利用者負担額軽減制度を継続して実施します。

(2) 大規模災害対策の強化

自然災害発生時に福祉避難所として地域に対して協力し、行政と連携を図り、災害発生時には二次避難所として施設を提供します。

3. 年間施設整備計画

- ・下水道接続工事

奥多摩町の下水道計画により、共用開始後3年以内に接続工事を行う必要があり、改修工事を行います。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書（当初予算）	
勘定科目	琴清苑会計
事業活動収入計 ①	364,336,000
事業活動支出計 ②	360,868,000
事業活動資金収支差額 ③（①－②）	3,468,000
施設整備等収入計 ④	0
施設整備等支出計 ⑤	868,000
施設整備等資金収支差額 ⑥（④－⑤）	-868,000
その他の活動による収入計 ⑦	7,400,000
その他の活動による支出計 ⑧	10,000,000
その他の活動資金収支差額 ⑨（⑦－⑧）	-2,600,000
予備費支出 ⑩	0
当期資金収支差額合計 ⑪（③＋⑥＋⑨－⑩）	0
前期末支払資金残高 ⑫	83,655,374
当期末支払資金残高 ⑬（⑪＋⑫）	83,655,374



お囃子

平成30年1月1日

午後より羽黒三田神社囃子振興会の来苑があり、獅子舞を披露して頂きました。獅子舞が各居室をまわり、利用者様と新年を祝いました。

毎年、囃子振興会の来苑を楽しみにされている利用者様もあり、今年も獅子舞を観て楽しんでいました。囃子振興会の皆様のおかげで、楽しく新年を迎えることができました。

介護主任 安藤



初笑い大会

平成30年1月26日

今年も初笑い大会で福笑いを行いました。利用者の皆さんにはタオルで目隠しをしてもらい顔のパーツを順番に置いていき、自分で完成させた顔を見て皆さんで大笑いされました。普段テレビを観たり、寝てばかりいる利用者の方々も笑顔になれるとても楽しい時間を過ごせられたと思います。これからも、利用者の方々の元気な笑顔を見られるよう職員一同つとめて参りたいと思います。

介護主任 松久



氷川小学校来苑

平成30年2月15日

氷川小学校の児童19名と先生3名が来苑され氷川獅子を披露して頂きました。獅子舞の後に氷川ソーランを踊り、童謡「ふるさと」を利用者様と歌いました。最後は、後出しジャンケンをして勝った利用者様には、児童が作ったメダルが渡されました。獅子やソーラン踊りなどを観て喜ばれておりました。年に一回の児童の来苑を楽しみにされている利用者様もあり、来年も児童に元気な姿を見せたいと話される利用者様もいました。

介護主任 安藤

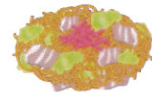


ホーム喫茶

平成30年3月13日

ホーム喫茶を行ないました。今回の喫茶では、近藤介護事務主任が作った焼きそばを提供いたしました。利用者様は普段は食べられないできたての焼きそばを食べて、喜んでいました。また、それを見ていた他の利用者様からも「私も焼きそば下さい。」と言われるほど大盛況でした。

管理栄養士 新堀



今季のインフルエンザは猛威を

2018年のインフルエンザの特徴は「A型とB型が同時に流行している」ことだと思いました。例年、2月の中旬くらいまでA型が主流で、2月下旬からB型が流行り始める傾向が強いのですが、今年に限っては「1月中からB型に罹患する人が多い」という特徴があり感染拡大が懸念されました。琴清苑では早期対応を図り、苑内への侵入を防止するため、職員には出勤時に手洗い、うがいを徹底しマスクの着用と体調管理には十分注意し体調不良時には早期の医療機関の受診を促しました。面会者の方にもご協力いただき、手指消毒、マスク着用をお願いし面会の制限も行ないました。結果、苑内へのインフルエンザの侵入は防止することができました。職員数名の感染はありましたが、早期対応、早期の医療機関への受診にて拡大することはありませんでした。今後も感染症が流行する季節には早期対応を行ない、苑内への侵入を防止していきたいと思っております。感染対策にご協力をいただきありがとうございました。

看護主任 浜中 勉

◆編集後記◆

広報がお手元に届くころに、スギ花粉が舞い上がるころに、ヒノキ花粉が舞い上がるころに、すずこももうしばらく辛抱です。

吉井

《入苑された利用者》

平成30年1月～3月
1月 奥多摩町 2名
3月 奥多摩町 3名

《ボランティア状況》

平成30年1月～3月 (敬称略)
トミヨ会
奥多摩指圧奉仕会
おくたま傾聴ボランティア
ふくろう

行事予定

4月6日 誕生会
4月8日 花祭り
5月3日 お花見
5月5日 菖蒲湯
6月3日 誕生会
6月8日 被服販売
6月11日 駄菓子販売
6月13日 誕生会
6月26日 ホーム喫茶

